

市立中学校男子生徒の自死について

1 当該生徒

名古屋市立中学校 1年男子生徒（12歳）

2 経過

- ・ 11月1日（日）15時55分頃、当該生徒が地下鉄鶴舞線庄内通駅構内で電車にはねられる。病院に搬送されたものの、約1時間半後に死亡が確認される。
- ・ 同日18時37分、愛知県警より教育委員会指導室に、名古屋市立中学校1年男子生徒が、地下鉄庄内通駅構内ではねられたとの連絡が入る。

3 状況

- ・ 「ぼくは、学校や部活でいじめが多かった。部活ではよく弱いなどか言われていた。もう耐えられない。」などという内容が記述されたノートが、自宅本人の部屋の机の中から見つかった。

4 当該生徒の普段の様子

- ・ 中学校に入学後、欠席もなく登校していた。
- ・ 中学校では卓球部に所属、真面目に参加しており、休みがちではなかった。欠席をするときにはきちんと連絡があった。事案前日の10月31日（土）、朝8時5分に部活に出て来たが、この日は練習試合の日で、当該生徒は参加予定ではなかった。気づいた顧問が確認したところ「忘れていました」といって帰宅した。
- ・ 体型はぽっちゃり型で運動は苦手、勉強も苦手な方であった。
- ・ とても優しい子であったが、精神的に決して強い子ではなかった。

- ・ 事案前の教育相談や学校独自のアンケート調査（2か月に1回実施）では、いじめられているという事実は確認されていない。当該アンケート調査では学校生活の満足度を4段階で記入するようになっているが、上から2番目の“3”に○が付けられていた。その理由としては部活動や友人のことが挙げられていた。
- ・ 4月8日（水）に実施した教研式サポート 学習スタイル診断では、学習ペースが遅く、指導のポイントとして、小さな学習ステップを用意し個別指導することが効果的であるなどの内容が記載されていた。
- ・ 学校生活における生徒の意欲や満足感を測定するハイパーQ Uにおいて、6月15日（月）に実施した1回目では、学級生活には満足できていないという結果、また教師との心理的な距離があまり近くないという結果が、10月9日（金）に実施した2回目では、当該生徒は支援を必要とするグループとの結果がそれぞれ出ていた。

5 学校の様子

- ・ 当該生徒以外の生徒に対するいじめについて認知しているものはあるが（平成27年度は現時点までに2件、平成26年度中は7件）、重大事態として捉えているものはない。
- ・ 卓球部では9月に、生徒間でアドバイスを交わす際に言い方が少しきつかったために言い争いになったというトラブルがあり、顧問が指導したことがある。この時のトラブルに当該生徒は関わっていない。

6 事案後の対応状況

〔事実関係の調査〕

11/1（日）～4（水） 教職員の聞き取りを実施。1日（日）については教育委員会指導主事と学校の教頭が卓球部の顧問2人に対して実施した。2日（月）からは教育委員会指

導主事と子ども応援委員会ＳＣの複数体制で実施し、４日（水）までにひととおりの聞き取りを終了した。当該生徒へのいじめに関する内容は確認できなかったが、部活動の中で２年生が１年生に対し、強い言葉で指導したのを見た教員が「そういう言い方はしないように」と指導をしたことがあると証言した。この１年生の中に当該生徒がいたかどうかは不明である。

- 11／2（月） 関係の深かった一部生徒（卓球部の同学年生徒９名）から教務主任と子ども応援委員会ＳＣで聞き取りを実施。当該生徒へのいじめに関する内容は確認できなかったが、うち１人は亡くなった生徒から１０月中旬に「もうだめかもしれない」と聞いたことがあると証言した。この生徒はその内容を「部活動のことではなく、人生のことや家のことなどいろいろ」と受け止めていた。
- 11／3（火） 教育委員会１１月臨時会で、それまでに分かっていた事実関係及び今後の対応を確認。引き続き調査と対応を指示。
- 11／4（水） 全校生徒を対象とした無記名による緊急アンケート調査を実施。
- 11／5（木） 緊急アンケート調査の結果を遺族に報告。また、記者会見及び教育委員会１１月定例会で報告。

※緊急アンケート調査の結果は資料２を参照

「当該生徒がいじめられていたり、嫌なことをされたり言われたり、からかわれたりしたこと」について、「直接現場を見た」が２０人、「本人から聞いたり相談を受けたりしていた」が３人、「本人以外の人から聞いた」（メールやライン等を含む）が５７人いた。

「金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりしていた。」に答えたものは2人おり、そのうちの1人が「イ 本人から聞いたり相談を受けたりしていた」「ウ 本人以外の人から聞いた」の両方に○をつけているが、この生徒は余白に「お金ではなく物ですが」ということを書いている。

教育委員会11月定例会で「名古屋市いじめ対策検討会議」に事実関係の調査等を諮問することを決定。

当該生徒が通っていた小学校の教職員5人に対する聞き取りを、教育委員会指導主事が実施。当該生徒へのいじめに関する内容は確認できなかった。

11/6（金）～ 教育委員会指導主事と子ども応援委員会SCの複数体制で、関係生徒（同じクラスの28人及び卓球部部員67人）からの詳細な聞き取りを実施。聞き取りの状況次第で対象を広げる可能性もある。18日（水）の「名古屋市いじめ対策検討会議」までにひとつおりの聞き取りを終了する予定。

11/18（水） 外部有識者による「名古屋市いじめ対策検討会議」の開催を予定。平成25年7月に発生した名古屋市立中学校生徒の転落死に係る検証委員会で委員を委嘱した有識者にも参画してもらう予定。

〔対応〕

- ・ 全学年保護者対象の臨時保護者会を11/6（金）を開催して、経過や緊急アンケート調査の結果、学校の取り組みなどを説明した。
- ・ 生徒の動揺が心配されることから、スクールカウンセラーを増員して、相談機会の充実を図る。（学校配置と子ども応援委員会配置の2名体制）

- ・ 子ども応援委員会スクールポリス、スクールガードリーダーによる登下校時の巡回を強化し、安全確保に努める。
- ・ 「こころの健康調査」の実施、子どもたちを見守っていただくためのチェックリストを配布し、家庭と連携して、生徒の不安の解消や心のケアに努める。
- ・ ネットパトロールを強化し、生徒の誹謗・中傷等の書き込みを削除依頼する。
- ・ その他、指導主事を常駐する。